

第1日目 2021年10月14日(木)

8:50~9:00 開会の辞

9:00~11:00 シンポジウム1「備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の開発状況」

座長：酒井 宏水（奈良県立医科大学医学部化学教室）

SY1-1「人工赤血球（ヘモグロビン ベシクル）製剤の治験薬 GMP 製造」

酒井 宏水（奈良県立医科大学医学部化学教室）

SY1-2「人工赤血球（ヘモグロビン ベシクル）製剤の治験（First-in-human）の進捗状況について」

東 寛（旭川医科大学小児科学）

SY1-3「産科危機的出血モデルに対する人工酸素運搬体 HbV の効果」

萩沢 康介（防衛医科大学校生理学講座）

SY1-4「イヌ肺切除術後 30%出血モデルを用いたヘモグロビン小胞体投与の有効性の組織学的評価」

大岩 加奈（東海大学医学部外科学系呼吸器外科学）

SY1-5「HbV を用いた臓器保存技術の可能性」

岩田 浩義（旭川医科大学植医学治療開発講座／肝胆膵移植外科）

SY1-6「光治療とヘモグロビン小胞体」

力久 直昭（おゆみの中央病院）

11:15~12:15 一般演題1

座長：松平 崇（奈良県立医科大学医学部化学教室）

O1-1「マウス気管移植モデルにおける上皮血管へのヘモグロビン小胞体による早期再灌流」

小野沢博登（東海大学医学部外科学系呼吸器外科学）

O1-2「一酸化炭素結合型ヘモグロビン小胞体の急性呼吸窮迫症候群に対する有用性評価」

渡部 佑樹（慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座）

O1-3「メトヘモグロビン内包リポソームの長期安定性評価」

鈴木 悠斗（慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座）

O1-4「メトヘモグロビン小胞体（metHbV）のシアン化物イオン（CN⁻）との結合挙動の解析」

久禮 智子（奈良県立医科大学医学部化学教室）

O1-5「メトヘモグロビン内包リポソームの新規アジド中毒解毒剤としての有効性評価」

羽生 聡美（慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座）

12:30~12:40 総会

13:00~13:50 特別講演1

「腸内共生と免疫」

座長：登美 斉俊（慶應義塾大学薬学部薬剤学講座）

演者：長谷 耕二（慶應義塾大学薬学部生化学講座）

14:10~15:25 シンポジウム2

「生理活性ガス分子の創薬イノベーション」

座長：田口 和明（慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座）

SY2-1「活性硫黄化が織りなすタンパク質の新たな生体防御機構」

異島 優（徳島大学大学院医歯薬学研究所）

SY2-2「水素ガス吸入療法の将来性」

本間康一郎（慶應義塾大学医学部救急医学／慶應義塾大学水素ガス治療開発センター）

SY2-3「ヘモグロビンを用いた一酸化炭素製剤の開発」

田口 和明（慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座）

15:45~16:45 一般演題 2

座長：萩沢 康介（防衛医科大学校生理学講座）

- O2-1 「人工酸素運搬体（HbV）の重症出血性ショックモデル（85%血液交換）における慢性期抗不整脈効果；
Optical Mapping・心拍変動解析による検討」
高瀬 凡平（防衛医科大学校集中治療部／入間ハート病院）
- O2-2 「HemoAct™の安全性・有効性評価（50%出血性ショックラットの蘇生試験）」
岡本 航（中央大学理工学部）
- O2-3 「抗酸化能を有するストロマフリーヘモグロビンナノ粒子（SFHbNP）の合成」
長谷川 舞（中央大学理工学部）
- O2-4 「四分岐 PEG を用いたヘモグロビンハイドロゲルの構築」
松平 崇（奈良県立医科大学医学部化学教室）
- O2-5 「肝再生不全に対する一酸化炭素搭載型細胞療法の再生促進効果」
野口 勇夢（熊本大学薬学部薬剤学分野）

第2日目 2021年10月15日(金)

9:00~10:12 一般演題3

座長：北岸 宏亮 (同志社大学理工学部)

O3-1 「動物用人工血漿増量剤としてのポリオキサゾリン修飾血清アルブミン (Aloxa™) の合成」

臼井 朝音 (中央大学理工学部)

O3-2 「アルブミンを用いたエダラボンナノ DDS 戦略の構築と肝疾患治療への応用」

安田 健吾 (熊本大学薬学部薬剤学分野)

O3-3 「血小板代替リポソーム投与後の肝チトクローム P450 プロファイルの定量的および定性的評価」

橋本 麻衣 (崇城大学薬学部)

O3-4 「ポルフィリン鉄錯体とシクロデキストリン二量体から構成される人工ヘモグロビンの構築と生体内ガスの吸着試薬としての利用」

北岸 宏亮 (同志社大学理工学部)

O3-5 「COVID-19 感染拡大下での赤血球製剤の献血および医療機関への供給の実態に関する研究」

三柴 智英 (東京女子医科大学・早稲田大学 共同先端生命医科学専攻)

O3-6 「Development of bioinspired perfluorocarbon-based oxygen carriers with concave shape and deformable shell」

Xiaoting Fu (Department of Bioengineering, The University of Tokyo)

10:20~11:35 シンポジウム3

「バイオミメティック製剤研究の新展開」

座長：田口 和明 (慶應義塾大学薬学部薬効解析学講座)

SY3-1 「がん間質細胞を標的とする DDS 担体の開発」

前田 仁志 (熊本大学薬学部薬剤学分野)

SY3-2 「血液中で標的分子を吸着して中和する多官能性リポソームの開発」

小出 裕之 (静岡県立大学薬学部医薬生命化学教室)

SY3-3 「白血球・細胞外小胞の特性を模倣した生体膜模倣微粒子の開発」

福田 達也 (和歌山県立医科大学薬学部薬剤学研究室)

13:00~13:50 特別講演2

「電位依存性 K⁺チャネルの動作メカニズムとペプチドによる阻害メカニズム」

座長：花岡健二郎 (慶應義塾大学薬学部創薬分析化学講座)

演者：大澤 匡範 (慶應義塾大学薬学部生命機能物理学講座)

14:10~15:10 シンポジウム4

「実用化が近づく人工血小板」

座長：武岡 真司 (早稲田大学理工学術院)

木下 学 (防衛医科大学校免疫微生物学講座)

SY4-0 「人工血小板 (H12-(ADP)リポソーム) の解説」

武岡 真司 (早稲田大学理工学術院)

SY4-1 「家兔における羊水塞栓症・産科出血モデルの開発と H12ADP リポソームの効果」

金子 恒樹 (埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科)

SY4-2 「エンドトキシン血症時の凝固障害に対する H12ADP リポソーム投与効果の検討」

萩沢 康介 (防衛医科大学校生理学講座)

SY4-3 「間葉系幹細胞から製造する血小板：メカニズムと再生医療等製品の開発」

松原由美子 (慶應義塾大学医学部臨床研究推進センター)

15:15 閉会の辞